



大戸小だより

URL:<http://oto-e.saitama-city.ed.jp/>

開校148年 学校教育目標 ○かしく ○やさしく ○たくましく

令和3年2月26日  
学校だより3月号  
さいたま市立大戸小学校  
☎831-3796  
明治6年開校

## 「思い」は見えないけれど「思いやり」は見える

校長 長島 クミ子

東日本大震災から10年がすぎようとしています。2011年3月11日の東日本大震災はそれまでに体験したことがない甚大な被害や生活の混乱、そして多くの尊い命を失う大きな悲しみをもたらしました。10年がたってもいまだに行方不明の方や避難生活をよぎなくされている方もいらっしゃり、復興支援は続いています。東日本大震災直後、毎日のように流れていたテレビCMを思い出しました。

「心」はだれにも見えないけれど、「心づかい」は見える。  
「思い」は見えないけれど「思いやり」は見える。

これは、埼玉県羽生市出身の宮澤章二さん（詩人・作詞家）の「行為の意味」という詩の一部です。

「思い」は「思いやり」をとおしてだれにでも見えるのです。あたたかい心もやさしい思いも行為によってはじめて見えるという内容です。

大戸小でも「思いやり」を見かけました。登校時、班長さんが後ろをふりかえり、人数を確認しながら班員の様子をみまもっていました。下校時、高学年の兄が妹の手をつないで帰っていく様子がありました。ケガをして泣いている子がいると先生に報告し、保健室に心配そうに見に行く子もいました。体育の授業後、上着を忘れた子がいると、その子のために教室までもっていったくれた子もいました。「先生、何か私にできることはありますか。」と積極的にお手伝いをしてくれる子もいました。大戸小では他にもたくさんの子もたちの「思いやり」を見かけることがあります。自分のことを大切にすると同じように相手のことも大切にできる人に成長してほしいと願っています。

人の「心」や「思い」は見えないからこそ、うまく伝わらない時もあります。そんな時でも自分のことを大切にしながら、相手に「思いやり」のある行為を続けていきましょう。いつかは雪がとけるようにうまく伝えることを信じて。

【開校記念日】3月15日 令和2年度は開校148年です。（すぎっぴーの誕生日です。）

大戸小学校は中里学校という名前でも明治6年の3月15日に開校しました。昭和19年度、与野第三国民学校として独立した年から卒業生の記録が残っています。令和元年度までの76年間の卒業生は、9928名です。開校148年と考えると大戸小を築き上げた人たちはもっとたくさんいらっしゃることです。たくさんの人たちに感謝し、これからも勉強と運動を頑張り、友達と仲良くし、「笑顔あふれる大戸小」をつくっていきましょう。

【保護者・地域の皆様へ】 2月4日に「学校関係者評価委員会」を開催し、学校評価アンケート結果を評価していただくとともにご意見をいただきました。アンケート結果はホームページに掲載する予定です。ご協力をいただきありがとうございます。最後に、コロナ禍の中、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様には、様々な我慢をお願いすることとなり、大変心苦しい一年でした。この状況下で学校としてできることは何か暗中模索の日々でした。ただただ、子どもたちの安全を第一に考え、学校としてできることを教職員一丸となって取り組んでまいりました。皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちが元気に過ごせたことを心から感謝しております。今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いたします。